

授 業 概 要

科目名	導入教育	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	1	単位	総時間数	30	時間
【授業を通じての到達目標】											
キャリアデザイン科で学び就職するための「身構え・気構え・心構え」を身につけることができる 1年間一緒に過ごすクラスメイトと協力して学ぶことができるように相手を知ることができる											
【学習内容】 （どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、学校の規則を知り円滑に学校生活を送れるように授業を行う。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						自分自身を知るために、手帳を使って日々を振り返ることを行う					
授業計画											
・導入研修	<p>クラスのメンバーに自分のことを知ってもらい、他のメンバーのことを知る。その中で一緒に協力してできるように、アイスブレイクやグループワークを通じて相互援助体制を構築する</p> <p>1年間の目標を立て、目標に向かってそれを達成するために具体的な目標をたてる</p> <p>就職活動について、基本的な活動の仕方についてオリエンテーションを行う</p> <p>オンライン授業をするにあたって、オンライン授業の仕方や、SNSの使い方、情報リテラシーを学び、正しくSNSを利用できるようにする</p> <p>自己分析を行い、自分自身を知る。そして今後の学生生活や、就職活動や進路活動など将来の進路選択が出来るように準備の仕方を知ることができる</p>										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
自分のことだけでなく、クラスで協力することを考える。自分で、出来ないと思うだけでなく、出来る方法を考えたり、人に依頼が出来るように考える。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。 自分の学んだことをレポート試験を行う					

授 業 概 要

科目名	キャリアデザイン講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年 (前期)	担当 教員	久保田 千尋	
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	4 単位	総時間数 60 時間
【授業を通じての到達目標】								
人間関係形成力・社会形成能力・課題対応能力を養い、体現できるようになる。								
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)								
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、自分のことを理解するとともに、人との関わり方や、将来生活するための考え方などを知るための授業を行う。								
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】			
フォーサイト手帳					フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することができる			
コマ	授業計画			コマ	授業計画			
1 2	【授業単元】 1年間の計画を立てる①			17 18	【授業単元】 インターシップと模擬面接会の振り返り			
	【到達目標】 自分の目標を立てることができる 1年間のスケジュールを知り、自分自身の目標を立てることができる				【到達目標】 インターシップと模擬面接会の振り返りを できていたことできなかったことを整理し、就職活動が出来る準備をする			
3 4	【授業単元】 オンライン授業をするにあたってルールを作成・考える①			19 20	【授業単元】 インターシップ(体験)に向けての準備			
	【到達目標】 オンライン授業をしてみて、感じていることや気になっていることを出す 学校に行き受ける授業とオンラインの授業の違いを出す それぞれのいいところ、難しいと感じるところを比較してみる				【到達目標】 実際に自分のいく場所を調べる 何を学びたいか、目標を立てることができる			
5 6	【授業単元】 これからの仕事の仕方や様々なコミュニケーションの方法について考える①			21 22	【授業単元】 インターシップ(体験)振り返り			
	【到達目標】 今の自分が人とコミュニケーションをとるツールについて考える 対面の仕事とオンラインを活用しての仕事の仕方について調べる グループワークをし、共有をする				【到達目標】 実際にインターシップを体験し、気づいたことなどをまとめる 自分が立てた目標に対してどうだったか振り返りまとめることができる			
7 8	【授業単元】 これからの仕事の仕方や様々なコミュニケーションの方法について考える②			23 24	【授業単元】 4ヶ月経っての振り返り			
	【到達目標】 今の自分が人とコミュニケーションをとるツールについて考える 対面の仕事とオンラインを活用しての仕事の仕方について調べる グループワークをし、共有をする				【到達目標】 4月入学してからの4ヶ月を振り返り、立てた目標が予定通りに進んでいるか確認する 出来ていること、出来ていないことを整理し、今後の目標を立てることが出来る			
9 10	【授業単元】 入学してからの2か月を振り返り			25 26	【授業単元】 将来働くということについて考える			
	【到達目標】 入学してからの2か月を振り返り、目標に対して自分の行動がどうだったか知る できていることできていないことを整理し、これからの目標を立てる				【到達目標】 自分にとって働くとはどのようなことか考える クラスや授業でおこなったことが将来働くことにどうつながっているか考えることができる クラスで共有し、よいところは取り入れ、視野を広げることで自分の進路を決める参考にすることができる			
11 12	【授業単元】 夢を実現するための3つの行動原則			27 28	【授業単元】 良い習慣について考える			
	【到達目標】 導入研修の時に考えた夢を実現するための3つの行動原則ができているか振り返る 意識してできているか、できていないか整理し、優先順位を決めて出来ることからおこなうことができるようにする				【到達目標】 良い習慣について考え自分の行動を振り返り、今後就職していくうえでのストレスについて考える 自分の感じているストレスを知り、対処方法や発散方法を探ることができる			
13 14	【授業単元】 インターシップに向けての準備			29 30	【授業単元】 前期の振り返りと定期試験			
	【到達目標】 導入研修の時に考えた夢を実現するための3つの行動原則ができているか振り返る 意識してできているか、できていないか整理する クラスで発表し、他者の意見を聞き参考にし、いいところや自分で出来るところは取り入れることができる				【到達目標】 前期の振り返りをまとめ、発表することができる 授業内定期試験			
15 16	【授業単元】 インターシップと模擬面接会の振り返りと中テスト			【成績評価の方法と基準】				
	【到達目標】 インターシップと模擬面接会の振り返りを できていたことできなかったことを整理し、就職活動につなげる			講義全体を100点満点とし、定期テストを60点、小テストと中テストの合計を40点の配点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。 ・試験は筆記試験で行う。 ・毎回の小テストは各回2コマで5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。				
【履修に当たっての心構え・留意点】								
学校生活や就職にむけて自分らしく生活が出来るように、計画を立て実行する								

授業概要

科目名	キャリアデザイン講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年 (後期)	担当 教員	久保田 千尋		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	4 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】									
人間関係形成力・社会形成能力・課題対応能力を養い、体験できるようになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、自分のことを理解するとともに、人との関わり方や、将来生活するための考え方などを知るための授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
フォーサイト手帳					フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することができる				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1 2	【授業単元】 後期の目標を立てる				17 18	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る②-1			
	【到達目標】 前期を振り返り、できたことできなかったことを整理し、後半の目標をたてる クラスで発表することで、人のいいところを取り入れる					【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを知り、変化する方法を考える クラスで共有し、他者からみた自分を知る。			
3 4	w 防災について考える①				19 20	【授業単元】 1年間と学習してきた、自分の強みを考える			
	【到達目標】 防災とはについて知る 学校にいるときに災害が起きたら、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る					【到達目標】 今までの学校生活で、出来たことをまとめる 個人でいいところや、クラスでいいところを出し合う			
5 6	【授業単元】 防災について考える②				21 22	【授業単元】 自分たちがやってきたことを他者に伝えるにはどんな手法があるか考える			
	【到達目標】 防災とはについて知る 自分の住んでいる地域のハザードマップを調べ、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る					【到達目標】 卒業するにあたり、自分たちが成長してきた過程を自分だけでなく、他者に伝えるためにどうすればいいか、クラスで話し合うことができる 具体的に伝える手段としてどんなことがあるか調べ見つけることができる			
7 8	【授業単元】 防災について考える③				23 24	【授業単元】 自分の個性を出しながら、クラスでの団結力を見せる方法を考える			
	【到達目標】 防災とはについて知る 学校にいるときに災害が起きたら、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る					【到達目標】 自分たちの成長してきた過程を他者に伝える方法について具体的に話し合うことができる 自分の強みを活かし、クラスの強みをみんなで相談しまとめることができる			
9 10	【授業単元】 防災について考える④				25 26	【授業単元】 成果発表会準備			
	【到達目標】 防災とはについて知る 自分の住んでいる地域のハザードマップを調べ、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る					【到達目標】 成果発表会で何を行うか考えることができる 自分たちのできたことや強みを活かしながら項目を決めていくことができる 役割や準備の方法なども考えることができる			
11 12	【授業単元】 将来生活するために必要なお金について考える				27 28	【授業単元】 成果発表会準備			
	【到達目標】 働いて稼げるお金や税金、お金の使い方について考えることができる 自分の理想について考え、その生活をするためにいくらかのお金が必要か考えてみる 自分の理想について考え、その生活をするためにいくらかのお金が必要か考えてみる 自分の理想について考え、その生活をするためにいくらかのお金が必要か考えてみる					【到達目標】 成果発表会で何を行うか考えることができる 自分たちのできたことや強みを活かしながら項目を決めていくことができる 役割や準備の方法なども考えることができる			
13 14	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る				29 30	【授業単元】 振り返り、授業内定期試験			
	【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを知り、変化する方法を考える					【到達目標】 1年間の振り返りをしそれをまとめ、発表することができる 授業内定期試験			
15 16	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る②-1 中テスト				【成績評価の方法と基準】 講義全体を100点満点とし、定期テストを60点、小テストと中テストの合計を40点の配点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。 ・試験は筆記試験で行う。 ・毎回の小テストは各回2コマで5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。				
	【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを知り、変化する方法を考える クラスで共有し、他者からみた自分を知る。中テスト								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
学校生活や就職にむけて自分らしく生活が出来るように、計画を立て実行する									

授 業 概 要

科目名	SNS講座		必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	株式会社 ブレーンスタッフコンサルタンツ			
学科 コース	キャリアデザイン科		学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間	
【授業を通じての到達目標】											
<ul style="list-style-type: none"> ・Wordでビジネス文書を作成できる ・PowerPointの基本的な操作を学び、スライドを作成できる 											
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
滋慶学園グループの企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
オリジナルのe-learningテキスト						e-learningテキストで操作手順を確認し、PC操作を実践する					
コマ	授業計画					コマ	授業計画				
1	【授業単元】 Word.01 基本操作					9	【授業単元】 Word院内ポスター				
	【到達目標】 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる						【到達目標】 Wordで院内ポスターを作成できる				
2	【授業単元】 Word.02 基本操作					10	【授業単元】 PowerPoint1 基本操作				
	【到達目標】 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる						【到達目標】 プレゼンテーションソフトの基本操作ができる				
3	【授業単元】 Word.03 画像や図形					11	【授業単元】 PowerPoint2 表現力を上げる				
	【到達目標】 画像や図形を駆使した文書を作成できる						【到達目標】 図形や画像を活用したスライドを作成できる				
4	【授業単元】 Word.04 画像や図形					12	【授業単元】 PowerPoint3 動きを付ける				
	【到達目標】 画像や図形を駆使した文書を作成できる						【到達目標】 スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる				
5	【授業単元】 Word.05 表の作成					13	【授業単元】 PowerPoint_紙芝居				
	【到達目標】 表を駆使した文書を作成できる						【到達目標】 PowerPointで紙芝居を作成できる				
6	【授業単元】 Word.06 表の作成					14	【授業単元】 PowerPoint試験対策				
	【到達目標】 表を駆使した文書を作成できる						【到達目標】 PowerPoint講座で学習した操作を繰り返し練習して、設問指示に従った操作を実践できる				
7	【授業単元】 Word.07					15	【授業単元】 PowerPoint定期試験、振り返り				
	【到達目標】 Word講座で学習した操作を繰り返し練習して、設問指示に従った操作を実践できる						【到達目標】 設問指示に従った操作を実践して、PowerPoint資料を作成できる				
8	【授業単元】 Word.08					【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 Word講座で学習した操作を繰り返し練習して、設問指示に従った操作を実践できる					科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験はPCを使用したPowerPointスライド作成を行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。					
【履修に当たっての心構え・留意点】											
PC操作は日々繰り返すことでタイピング速度が上がり、効率的な資料作成やデータ処理が可能になります。できるだけ日常に取り入れて活用してください											

授 業 概 要

科目名	SNS講座		必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	株式会社 プレーンスタッフコンサルタンツ			
学科 コース	キャリアデザイン科		学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間	
【授業を通じての到達目標】											
・Excelを利用し、表計算や表、グラフを作成できる											
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
滋慶学園グループの企業である(株)プレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
オリジナルのe-learningテキスト						e-learningテキストで操作手順を確認し、PC操作を実践する					
コマ	授業計画				コマ	授業計画					
1	【授業単元】 Excel_01				9	【授業単元】 Excel_09					
	【到達目標】 以下の操作ができる オートフィル、シート操作(新規シート、名前の変更、移動) セルの選択練習、F4キー繰り返し操作、複数の列幅調整 入力と表作成(文字列と数値の違い、数式バー、中央揃え、罫線etc)					【到達目標】 以下の操作ができる データベース(複数の順序並べ替え、いろいろなフィルター) IF関数、RANK.EQ関数					
2	【授業単元】 Excel_02				10	【授業単元】 Excel_10					
	【到達目標】 以下の操作ができる 四則演算(数式入力の決まり、キーボード確認) セル参照(なぜセル参照するのか) SUM関数とAVERAGE関数(利用するメリット)					【到達目標】 Excel_09の復習					
3	【授業単元】 Excel_03				11	【授業単元】 Excel_11					
	【到達目標】 Excel_01と02で学んだ操作を繰り返し練習して定着する					【到達目標】 Excel日商検定に向けて操作を定着できる					
4	【授業単元】 Excel_04				12	【授業単元】 PowerPointダイジェスト					
	【到達目標】 以下の操作ができる 相対参照と絶対参照の違いを学び活用できる					【到達目標】 PowerPoint作成時に必要な基本操作ができる					
5	【授業単元】 Excel_05				13	【授業単元】 PowerPoint_スライド作成01					
	【到達目標】 Excel_04で学んだ操作を繰り返し練習して定着する					【到達目標】 PowerPointでスライドを作成できる					
6	【授業単元】 Excel_06				14	【授業単元】 PowerPoint_スライド作成02					
	【到達目標】 以下の操作ができる 棒グラフ(集合縦棒・積み上げ縦棒)、折れ線グラフ、円グラフ (グラフ移動、タイトル、軸ラベルと文字列の方向、ラベルオプション) 表の数字を変更してグラフに反映する様子を確認、表の罫線					【到達目標】 PowerPointでスライドを作成できる					
7	【授業単元】 Excel_07				15	【授業単元】 PowerPoint_スライド作成 定期試験					
	【到達目標】 Excel01-07で学習した内容を踏まえて、設問指示にしたがってExcel基本処理を行える					【到達目標】 設問指示に従った操作を実践して、PowerPoint資料を作成できる					
8	【授業単元】 Excel_08 中テスト				【成績評価の方法と基準】						
	【到達目標】 Excel01-07で学習した内容を踏まえて、設問指示にしたがってExcel基本処理を行える				科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験はPCを使用したPowerPointスライド作成を行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。						
【履修に当たっての心構え・留意点】											
PC操作は日々繰り返すことでタイピング速度が上がり、効率的な資料作成やデータ処理が可能になります。できるだけ日常に取り入れて活用してください											

授 業 概 要

科目名	好き発見講座	必修選択の別	必修	開講区分	通年(前期)	担当教員	百木ゆう子、眞栄田果奈、井ノ口典子 代田望都、白井孝子、茂木茜		
学科コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
各分野の内容や面白さを体験し知る。 ・アロマテラピーや精油を知り、アロマ(かおり)のもつ作用と感じ方の違いを通して組み合わせを知る。また、環境や気分に合わせた香りを調合し完成させる。・保育の現場で体験できる簡単な遊びを知る・アロマ(かおり)のもつ作用と感じ方の違いを通して、どのように組み合わせると良い香りになるか、また、環境や気分に合わせた香りを調合し完成させる。・保育の仕事について知る。また、インターンシップへの期待がもてるように現場のエピソードを聞く。・科学の楽しさ・おもしろさを知り実験を中心とした体験を通して業界を知る。・認知症キャラバンの講座を受けてサポーターになる。また、車いすや食事介助などを体験し福祉の業界を知る。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
それぞれの分野の専門家によって、その分野の面白さを知る授業を展開。 【アロマ】エステティシャン歴28年。東京ベルエポック美容専門学校エステ科非常勤講師(2017～2020)。エステサロン経営(青山・船堀)。【出演】ぐるナイ・ヒルナンデス！・じゃらんCMなど。【出版】美容本4冊・DVD5枚など。【授業内容】実際にアロマを嗅いだり混ぜたりして、状況や気分に合わせた香りを作成します【保育】幼稚園教諭・保育士として社会福祉施設にて17年勤務。現在は文京区内の認可保育園にて園長として勤務。実際の保育現場のエピソードを通して保育という仕事の楽しさを知ってほしいと思います。【技工】姉妹校である新東京歯科技工士学校で広報を担当する教員から、歯科技工を面白く体験しながら業界を知る。【バイオ】姉妹校である東京バイオテクノロジー専門学校の専門の教員から、科学の楽しさ・おもしろさを知る授業を体験し業界を知る。【福祉・介護】介護や看護の仕事経験のある教員が介護について介護の仕事についての理解を深めるような授業を展開。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
各分野の資料をTeamsにUP					次の授業で必要なものを調べたり写真を準備したりする。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 【アロマ】アロマを知ろう！ 【到達目標】 アロマって何だろう？香水とは違うの？精油って何？ 精油の選び方と正しい使い方を知る				9	【授業単元】 【バイオ】実験操作の基本を知ろう！ 【到達目標】 実験器具の名前、使い方、実験のルールを身に付ける。 酸化還元反応の実験を通して、色などの状態変化を観察、実験の楽しさ・面白さを感じる。			
2	【授業単元】 【アロマ】エッセンシャルオイルの活用法 ハーブ系の精油について(ラベンダー、ローズマリーなど)知る 【到達目標】 日常生活の中での香りの活用法を知る 実際に香りを嗅いでみる(ハーブ系の精油)				10	【授業単元】 【バイオ】商品開発に挑戦 ①人工いくらを開発しよう 【到達目標】 商品である人工いくらの色や大きさ、硬さなどを考え、商品を完成させる。開発実験を通して、食品開発者の仕事を知る。			
3	【授業単元】 【アロマ】アロマセラピーの歴史 シトラス系の精油について(オレンジ、グレープフルーツなど)知る 【到達目標】 アロマセラピーの歴史を知る 実際に香りを嗅いでみる(シトラス系の精油)				11	【授業単元】 【福祉】認知症について知ることができる① 【到達目標】 ・認知症とは何かを知る 脳のパワー 4大認知症 認知症と似ている病気			
4	【授業単元】 【アロマ】エッセンシャルオイルが体に伝わる仕組み フローラル系の精油について(ローズ、ゼラニウムなど)知る 【到達目標】 鼻や皮膚からどうやって伝わるのかを知る。 実際に香りを嗅いでみる(フローラル系の精油)				12	【授業単元】 【福祉】認知症について知ることができる② 【到達目標】 ・認知症のある人を知る どこで生活しているの、どんな生活をしているの、どう接したらいいの			
5	【授業単元】 【保育】『保育の仕事とは？』① 【到達目標】 保育の仕事について知る。また、絵本やパネルシアターなどに触れ、子どもの好きなものを実際に体験してみる。				13	【授業単元】 【介護】車いすの基本的操作とコミュニケーションの基本 【到達目標】 高齢者の気持ちを想像しながら基本的な車いす操作を学ぶことができる			
6	【授業単元】 【保育】『保育の仕事とは？』② 【到達目標】 保育の仕事について知る。また、絵本やパネルシアターなどに触れ、子どもの好きなものを実際に体験してみる。				14	【授業単元】 【福祉】認知症の人が地域で生活するしくみ 【到達目標】 ・住み慣れた地域で生活する、若年性認知症の人たち、当事者からの発信 ・認知症サポーター終了授与式			
7	【授業単元】 【歯科技工】歯科材料を使ってスマホリングをつくる 歯科材料デコレーションペンをつくる 【到達目標】 スマホリングをつくること デコレーションペンをつくること				15	【授業単元】 【介護】食べるメカニズムの理解と食事介助の基本 【到達目標】 高齢者の気持ちを想像しながら食事介助の基本を学ぶことができる。			
8	【授業単元】 【歯科技工】本物そっくりの白い歯をつくる 【到達目標】 本物そっくりの白い歯をつくること				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 漫画、アロマ、介護、プログラミングの4つの分野でそれぞれ小テストは20点満点とし、20点×4つの分野=80点を÷2したものと定期試験60点の合計で評価を行う。 定期試験はレポート提出とし、60点満点とする。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
【漫画】うまく描けないということに気にせず、いろいろなものを描くことにチャレンジしましょう 【アロマ】香りは好みがありますので、合わない場合は担当教員に申し出てください。アロマオイルは直接触らないよう注意してください。 【プログラミング】ビジュアルプログラミングはプログラミング言語を使用しないため、それらを意識することなく取り組むことができます。PCが苦手な方にも馴染みやすい内容です。									

授 業 概 要

科目名	好き発見講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	高岸裕一、木ノ下ゆん、百瀬留美 中島由里子、赤間亮一、関根凌子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	2 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】									
各分野の内容や面白さを体験し知る。 ・美容について知ることメイクアップ、コスメなどを学び、身だしなみを整えることを身につける。・楽しく絵を描き何か新しいことを見つける。・歯科医院の業務を知り興味を持って体験することが出来る。・動物の生態やを通して変化の観察や楽しさを知り業界に妙味を持つ。・ビジュアルプログラミングアプリケーションである「Scratch」を通してプログラミングを体験する。プログラミング的思考について理解を深める。・造形を通して学校生活や社会生活の中でコミュニケーション力を円滑にする多角的な自己表現力を養う									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
各分野において、さまざまな経験のある教員が、各分野の基礎知識や面白さを伝える授業。 【美容】世界コスメ技術検定協会の理事、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。美容について身だしなみに必要なコスメ・メイクアップ・ヘアスタイリング・パーソナルカラーなど・を学ぶ【マンガ】見本を真似してマンガやイラストの絵を描きます。描いた絵に、色を塗ったりカッターや定規を使って効果を表現したりします。自由に絵を描くことにもチャレンジします。【動物】動物に関わったことがある教員が動物の生態や育て方について学ぶ授業を展開【歯科】歯科衛生士の資格がある職員が歯科医院業務を体験する授業を展開。【プログラミング】「プログラミング的な思考力を身につける」ために論理的かつ効率的な物事への考え方を指す。本授業では大学ICT教育の経験がある教員がプログラミング的思考を意識した授業を行う。【造形】幼児から高齢者の造形活動を行い学校教員の経験のある教員が基礎的な造形力の知識技術を修得出来る授業を行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
【美容】世界コスメ技術検定協会公式デジタルテキスト【魔法書】 【マンガ】カッター、鉛筆、定規 【造形】筆記用具 はさみ 糊					次の授業で必要なものを準備する				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 【美容】導入、美容、ヘアメイクの仕事を紹介、道具の使い方、名称、テキスト配布				17	【授業単元】 【歯科】模型の歯で印象採取を実際に体験し石膏模型を作る。歯科用ユニットの知識と使い方を知り体験する。			
2	【到達目標】 美容、ヘアメイク業界の仕事や道具などの名教や使用方法を覚える。化粧品道具を使用してデザインを描いてみる				18	【到達目標】 歯科衛生士の業務を知り道具を使ってみる 歯の模型を取ることで歯科業務に携わる			
3	【授業単元】 【美容】2.5次元舞台のメイクアップを学ぶ。				19	【授業単元】 【動物】動物関連の専門学校の校舎見学			
4	【到達目標】 コスプレメイクデザイン① 協力して男性キャラクターメイクをウィッグにする。				20	【到達目標】 校舎見学を通して、動物のことを知る			
5	【授業単元】 【美容】2.5次元舞台のメイクアップを学ぶ。				21	【授業単元】 【動物】動物・植物について学ぶ①			
6	【到達目標】 コスプレメイクデザイン② 協力して女性キャラクターメイクをウィッグにする。				22	【到達目標】 動物の生態について知る 動物の育て方について学ぶ			
7	【授業単元】 【美容】2.5次元舞台のメイクアップを学ぶ。				23	【授業単元】 【動物】動物・植物について学ぶ②			
8	【到達目標】 コスプレメイクデザイン③ 協力して異世界系キャラクターメイクをウィッグにする。				24	【到達目標】 動物の生態について知る 動物の育て方について学ぶ			
9	【授業単元】 【マンガ】マルイ円を使ってカワイイ動物を描き4コマの枠に何コマも描く。漫画のフキダシに自分なりのセリフを入れたり、セリフに合わせて絵を描く 【アロマ】自分のお気に入りアロマを作ろう！ウッディ系の精油について(ティートリー、サイプレスなど)知る				25	【授業単元】 【プログラミング】ビジュアルプログラミング① 【造形】立体的な表現 陶芸粘土 歴史 制作方法			
10	【到達目標】 【マンガ】円等の図形から想像して色々な動物を描くことができる。動物同士の会話の様子を描くことができる 【アロマ】アロマを混ぜて、気分や好みに合わせた香りを作る。実際に香りを嗅いでみる(ウッディ系の精油)				26	【到達目標】 【プログラミング】①scratchのアカウントを作成する。②scratchの基本操作を実行する。 【造形】粘土の種類について理解できる。・粘土の制作方法について理解できる。・個を活かした作品を提出出来る。			
11	【授業単元】 【マンガ】紙に描いた人形に好みの髪型と服装を描く。水彩が色鉛筆で色を塗ります。 【アロマ】誰かのためにアロマを作ろう！				27	【授業単元】 【プログラミング】ビジュアルプログラミング② 【造形】平面的な表現 共同制作 絵具で遊ぶ			
12	【到達目標】 【マンガ】髪型や服装に興味を持つ。お気に入りのファッションを絵で表現できるようになる 【アロマ】相手の気持ちや好みを想像して、香りのプレゼントを作る。				28	【到達目標】 【プログラミング】①プログラムの改変を実施する。②オリジナル要素がある作品を作成する。 【造形】絵具を使ったの制作方法について理解できる。個を活かした作品を提出出来る。・共同制作が出来る。			
13	【授業単元】 【マンガ】漫画の原稿に鉛筆で集中線などのスピード線描く、ベタをぬる、トーン貼る 【バイオ】商品開発に挑戦 ②香水を開発しよう				29	【授業単元】 【プログラミング】ビジュアルプログラミング③ 【造形】立体的な表現 陶芸粘土② 制作方法 色付け			
14	【到達目標】 【マンガ】モノクromanガの表現に興味を持つことができる。定規やカッターを上手に使うことができる 【バイオ】香りの原料である香料を組み合わせて、オリジナルの香水を完成させる。開発実験を通して、調剤師の仕事を知る。				30	【到達目標】 【プログラミング】①作成した作品をプレゼンテーションする。②クラスメイトと作品のピアレビュー(相互評価)を行う。 【造形】釉薬について理解できる。個を活かした制作が出来る			
15	【授業単元】 【マンガ】トーン貼る、ちょっとした漫画家体験をする 【バイオ】科学捜査(血液検査)に挑戦しよう				【成績評価の方法と基準】				
16	【到達目標】 【マンガ】自分が興味のあることを絵やマンガで表現できるようになる 【バイオ】試薬の安全な取り扱いを身につける。 ルミノール反応を通して、検査・実験をする仕事を知る。				科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 歯科、美容、バイオ、動物の4つの分野でそれぞれ小テストは20点満点とし、20点×4つの分野=80点を÷2したものと定期試験60点の合計で評価を行う。(小テストは4回ものは各回5点、3回のは1、2回目は5点、3回目は10点とする)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
うまくできないことは気にせず、いろいろなものにチャレンジしましょう。 自分の思ったことを発信し、みんなで考える姿勢で臨みましょう。 各講座ごとに注意事項をお伝えしますので安全に体験しましょう。									
					定期試験はレポート提出とし、60点満点とする。				

授 業 概 要

科目名	ソーシャルスキルトレーニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	市原 郷子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークや製作することによって、達成感を味わい、挑戦することの大切ややれはできることを体験し主体的に行動することができる ・クラスメイトと協力して課題達成することによって、助けあう気持ちを感じ、周りの状況を見ることができる ・グループワークを通して他者へ与える影響を体験し、自発的に行動することができる ・自分の気持ちや意見を表現することを通して相手を知ることができる 									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
大企業人事部門事務採用業務に従事した経験をもとに企業研修や大学、高校、専門学校、障害者施設等で登壇している講師が、相手が何を求め、何をしたいと望んでいるのかを推察し、その気持ちに寄り添い応えるために行動する具体的なことを体験する授業内容を行う。実践を繰り返すことで主体的に行動できる対応力を身につけるように演習を繰り返す。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
ワークシート					普段の生活でも人と接する際は、相手への心配り、目配り、気配りを意識して相手都合で考えることを意識して習慣化してほしい				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業単元】 オリエンテーション ・講師自己紹介・クラスの仲間を知る 【到達目標】 ・自分自身を紹介するために好きなことや得意なこと、やりたいことなどをまとめることができる ・自分の紹介したいことを言葉にして伝えることができる ・クラスの仲間の自己紹介を聞いて受容することができる				9	【授業単元】 表現力をつけるトレーニング 【到達目標】 ・喜怒哀楽の表現方法を知る ・毎日できるトレーニングを覚える ・笑顔トレーニング			
2	【授業単元】 ハートビーイング(ことばのつかいかた) ・GoodワードとBadワード GoodアクションとBadアクション) 【到達目標】 ・かけられてうれしいことばとそうでないことばとは何かを知る ・されてうれしい行動とそうでない行動とは何かを知る ・生活する中で自分が使おうと思うことばと積極的にしようと思う行動を明確にする				10	【授業単元】 表現力練習 滑舌練習① 【到達目標】 ・相手にわかりやすく伝える外的要因を知る 声のトーン・声に強弱をつける・速さ・間の取り方を体験する			
3	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク① 【到達目標】 ・想像して語ることができる ・正解ではなく自分の中の答えを出すために考えることができる ・クラスメイトと情報を共有することができる				11	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク③ 【到達目標】 ・グループの仲間と情報を共有できる ・自分の意見、考えを言葉にして伝えることができる ・相手の意見、考えを受容できる			
4	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク② 【到達目標】 ・課題達成にむけて協力することができる ・自分の意見を言うことができる ・他者の意見を受け入れることができる				12	【授業単元】 表現力練習 滑舌練習② ※声に表情をつける 【到達目標】 ・相手の胸を打つ話の仕方を知る			
5	【授業単元】 ことばの使い方ワーク 【到達目標】 ・質問力とは何かを知る ・自分の答えを早く出すための質問に仕方を学ぶ				13	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク④ 【到達目標】 ・PDCAの仕組みがわかる ・目標を立てることができる			
6	【授業単元】 創造力、想像力、考える力、達成感を味わうワーク(折り紙) 【到達目標】 ・知っている折り紙のおり方を教えることができる ・教えてもらった折り方を理解して折ることができる				14	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク⑤ 【到達目標】 ・協力して課題を達成することができる ・グループの仲間の様子に気づくことができる			
7	【授業単元】 協力ワーク(全員で一つの事をやる) 【到達目標】 ・全員でいま、ここでやっていることを楽しむことができる ・他者と協力する ・自分の意見を言う 他者の意見を聞く(受容することができる)				15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 ・自分の考えを言葉にして表現することができる			
8	【授業単元】 中テスト 【到達目標】 ・質問に対しての自分の答えを見出すことができる				【成績評価の方法と基準】 評価は、出席点と製作点で行う。 出席点(40点)と定期テスト(60点) 評価は、学則規定に準ずる。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
気づく→考える→行動する ことを意識する 挨拶をする									

授 業 概 要

科目名	ソーシャルスキルトレーニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	市原 郷子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークや製作することによって、達成感を味わい、挑戦することの大切ややればできることを体験し主体的に行動することができる ・クラスメートと協力して課題達成することによって、助けあう気持ちを感じ、周りの状況を見ることが出来る ・グループワークを通して他者へ与える影響を体験し、自発的に行動することができる ・自分の気持ちや意見を表現することを通して相手を知ることができる 									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
大企業人事部人事課採用業務に従事した経験をもとに企業研修や大学、高校、専門学校、障害者施設等で登壇している講師が、相手が何を求め、何をしたいと望んでいるのかを推察し、その気持ちに寄り添い応えるために行動する具体的なことを体験する授業内容を行う。実践を繰り返すことで主体的に行動できる対応力を身につけるように演習を繰り返す。									
【使用教科書・教材・参考図書】									
ワークシート					普段の生活でも人と接する際は、相手への心配り、目配り、気配りを意識して相手の立場で考えることを意識して習慣化してほしい				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業単元】 後期の目標設定 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・目標をたてることができる ・その中でやることを具体的に考え言葉にすることができる 				9	【授業単元】 全員でゲーム大会① 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・公平なグループ分けができる ・誰とでも即協力することができる ・協力、応援を通して楽しむことができる 			
2	【授業単元】 プレゼンテーション大会① 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の趣味、特技を明確にできる ・相手の心に響くプレゼンテーションの手法を知る ・他者のプレゼンテーションを 				10	【授業単元】 全員でゲーム大会② 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・会を盛り上げ、全員が楽しむことを考えることができる ・計画書を作成することができる ・振り返りを行い継続していくこと、改善することを明確にできる 			
3	【授業単元】 プレゼンテーション大会② 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の趣味、特技を明確にできる ・相手の心に響くプレゼンテーションの手法を知る ・他者のプレゼンテーションに興味をもって聴くことができる 				11	【授業単元】 全員でゲーム大会③ 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・会を盛り上げ、全員が楽しむことを考えることができる ・計画書を作成することができる ・振り返りを行い継続していくこと、改善することを明確にできる 			
4	【授業単元】 プレゼンテーション大会③ 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の趣味、特技を明確にできる ・相手の心に響くプレゼンテーションの手法を知る ・他者のプレゼンテーションに興味をもって聴くことができる 				12	【授業単元】 コミュニケーショングループワーク① 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで全員が発言しやすい環境づくりの手法を知る ・相手を思いやる発言ができる ・相手を思いやる行動ができる 			
5	【授業単元】 ゲーム大会① 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の趣味、特技を明確にできる ・相手の心に響くプレゼンテーションの手法を知る ・他者のプレゼンテーションに興味をもって聴くことができる 				13	【授業単元】 コミュニケーショングループワーク① 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで全員が発言しやすい環境づくりの手法を知る ・相手を思いやる発言ができる ・相手を思いやる行動ができる 			
6	【授業単元】 主体的に関わるグループワーク① 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いに積極的に参加できる ・提案することができる ・情報を共有することができる 				14	【授業単元】 全員でゲーム大会③ 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・公平なグループ分けができる ・誰とでも即協力することができる ・協力、応援を通して楽しむことができる 			
7	【授業単元】 主体的に関わるグループワーク② 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いに積極的に参加できる ・提案することができる ・情報を共有することができる 				15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・1年を振り返り今後の目標、課題を考える 			
8	【授業単元】 中テスト 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・質問に対しての自分の答えを見出すことができる 				【成績評価の方法と基準】 評価は、出席点と製作点で行う。 出席点(40点)と定期テスト(60点) 評価は、学則規定に準ずる。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
気づく→考える→行動する ことを意識する 挨拶をする									

授 業 概 要

科目名	心理学	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	山岸 有里		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業 形態	講義	総単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
「心理学」の基本的な知識とともに、自分を知り相手を理解するための知識を身に着ける。 さらに、心理検査についても学び一般的な性格のタイプとその特徴、対応方法について知る。									
【学習内容】									
公認心理師を取得し、臨床心理士として、20年カウンセリングを行いながら教員として心理系科目を担当。 特に、自分に自信を失っている人たちに、心理学を通して自分の知ることで、自分を肯定的に受け入れられるようになってもらいたいと考えています。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
教科書なし。随時資料をTeamsにて共有					特になし				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 心理学とは何かを知る				9	【授業単元】 心理検査(SPTランプ)について知り、体験する。 分析方法を学ぶ。			
	【到達目標】 ・心の仕組みを知る ・思考、感情のつながりを知る。(小テスト5点)					【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 (小テスト5点)			
2	【授業単元】 日常生活をする中で体験、経験している事を心理学理論を使って説明できる				10	【授業単元】 心理検査(SPTランプ)について知り、体験。① 結果をもとに、他者に自分を肯定的に紹介する。			
	【到達目標】 ・認知心理学 ・色彩心理学 について日常生活を例にとりまとめ、他者に説明することができる。(小テスト5点)					【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 ・検査結果のレポートを作成できる。(小テスト5点)			
3	【授業単元】 心理検査について知り、体験する。①				11	【授業単元】 心理検査(SPTランプ)について知り、体験。② 結果をもとに、他者に自分を肯定的に紹介する。			
	【到達目標】 ・心理検査の種類について知る。 ・心理検査の結果から自己を知る(小テスト5点)					【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 検査結果のレポートを作成できる。(小テスト5点)			
4	【授業単元】 心理検査について知り、体験する。②				12	【授業単元】 心理検査(SPTランプ)について知り、体験。③ 結果をもとに、他者に自分を肯定的に紹介する。			
	【到達目標】 ・他の心理検査を体験し、自己理解を深める(1回目)(小テスト5点)					【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 検査結果のレポートを作成できる。(小テスト5点)			
5	【授業単元】 他者との違いから自分を知る③				13	【授業単元】 心理検査(SPTランプ)について知り、体験。④ 結果をもとに、他者に自分を肯定的に紹介する。			
	【到達目標】 ・心理検査、他者評価から自分を知り、自己紹介を他者に行う(2回目)(小テスト5点)					【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 検査結果のレポートを作成できる。(小テスト5点)			
6	【授業単元】 心理検査について知り、体験する。④				14	【授業単元】 これまでの結果をもとに、自分とはどういう人で何に気を付ける必要があるのかの自己分析を行い、その結果を資料としてまとめる。			
	【到達目標】 ・心理検査、他者評価から自分を知り、自己紹介を他者に行う(3回目)(小テスト5点)					【到達目標】 ・これまでの心理検査結果をもとに、自己PRを行うことができる (発表形式の定期試験とする)			
7	【授業単元】 心理検査について知り、体験する。⑤				15	【授業単元】 これまでの結果をもとに、自分とはどういう人で何に気を付ける必要があるのかの自己分析を行い、その結果を資料としてまとめる。			
	【到達目標】 ・心理検査、他者評価から自分を知り、自己紹介を他者に行う(4回目)(小テスト5点)					【到達目標】 ・これまでの心理検査結果をもとに、自己PRを行うことができる (発表形式の定期試験とする)			
8	【授業単元】 中テストとして、資料作成(10点)と発表(10点)で合計20点分の配点とする。				【成績評価の方法と基準】				
	【到達目標】 自己紹介PPを作成し発表。				定期試験:筆記試験形式で実施 小テスト、中間テスト:提出物、プレゼンテーション(発表点)、筆記試験で実施 合計点数 GP A評価 100~90点 4.0 B評価 89~80点 3.0 C評価 79~70点 2.0 D評価 69~60点 1.0 E,F評価 59点以下又は出席不良は、不合格				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
講義は、受身的な姿勢ではなく自ら学び取る姿勢で臨むこと。 タブレット、PC等を使用するため講義前に十分な充電をしておくこと。									

授 業 概 要

科目名	自己表現講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	関根 凌子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
学校生活や社会生活の中でコミュニケーションを円滑にする多角的な自己表現力を養う。									
【学習内容】 (どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
幼児から高齢者の造形活動を行い学校教育の経験のある教員が基礎的な造形の知識技術の修得が出来る授業を行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
はさみや糊など道具 その他活動に必要な道具・PCかタブレット端末					製作物の準備				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 ・授業の目的について理解する ・それぞれの表現がいかされた作品の制作と発表を理解する。 ・基本の折り紙の折り方と記号を理解する 【到達目標】 ・制作に必要な準備ができる ・折り紙の歴史が知ることが出来る ・折り紙の基本的な折り方を理解し折る事が出来る。 ・授業内容を理解し中期の計画を立てる事が出来る。				9	【授業単元】 ・伝承遊び 折り紙 凧 風船 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることが出来る ・個を活かした風船を提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
2	【授業単元】 ・カレンダー制作 1月2月 季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 お正月 冬 ・宇宙飛行に役立つ折り紙 【到達目標】 ・宇宙で役立つ折り紙について知ることが出来る ・季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折ることが出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫点に共感や考察が出来る				10	【授業単元】 ・伝承遊び 折り紙 手裏剣 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みと遊び方を理解する事が出来る ・個を活かした手裏剣を提出できる。			
3	【授業単元】 ・カレンダー制作 3月4月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 桜 春 ・江戸時代の折り紙 【到達目標】 ・江戸時代の折り紙について知ることが出来る ・季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方が理解し折ることが出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る				11	nakamoto ・気持ちを伝え表す造形的方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ①平行折り 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることが出来る ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
4	【授業単元】 カレンダー制作 5月6月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 あじさい かつむり が 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折ることが出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				12	【授業単元】 ・気持ちを伝え表す造形的方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ②斜め折り 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることが出来る ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
5	【授業単元】 カレンダー制作 7月8月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 朝顔 七夕 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折ることが出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				13	【授業単元】 ・気持ちを伝え表す造形的方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ④飛び出すコイル 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることが出来る ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
6	【授業単元】 カレンダー制作 9月10月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 月見 ハロウィン 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折ることが出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				14	【授業単元】 ・気持ちを伝え表す造形的方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ⑤立方体 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることが出来る ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
7	【授業単元】 カレンダー制作 11月12月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 雪 冬 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折ることが出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				15	【授業単元】 定期試験 ・感謝カードの制作 1年の感謝カードを贈る 制作してきた技法から1つ選択する ・作品鑑賞 ・制作の感想をまとめる 【到達目標】 自らが考えた制作を説明し、発見した事や工夫した事を仲間と共感し共有する事が出来る。より深い表現が出来る点を具体的に活かせるように制作のまとめをする。			
8	【授業単元】 中テスト カレンダーの制作 表紙 ・自分らしさを考えた表現で制作を行う 【到達目標】 自分らしさを考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方が理解し折ることが出来る ・工夫した点を発表出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				自己表現講座のルーブリックを用いて評価する。 【小テストについて】 毎回の小テストは5点満点とする。ただし、8回目の中テストは15点満点とする。1-14回目の小テストと中テストの合計点の1/2(小数点繰り上げ)合計40点を小テストの点数とする。 【定期試験について】 15回目は定期試験とし60点の点数とする。 【評価について】 小テスト・定期試験の合計点からA-Fの6段階で評価する				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
提出物は期限を守る事。									

授 業 概 要

科目名	エクササイズ	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	金松 和		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
動き続けるために必要な体力とその維持方法を様々な運動を通じて身に着ける									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
私は民間スポーツクラブにて10年ほど勤務し、その後、大学・高校などの部活動でトレーナー活動を行っています。健康とは体にどのような良いことがあるかを知ってもらえる授業を行ってまいります。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
配布資料					授業時間外では普段の歩き方、立ち方に注意しましょう。猫背・反り腰を腰痛や肩凝りを起こします。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 座学：体を動かす楽しさ・大切さとは 実技：レクリエーション				9	【授業単元】 座学・実技：ストレッチで健康な体になろう！			
	【到達目標】 座学：体を動かす楽しさ・大切さを理解し、文章にすることができる。 実技：レクリエーションを通じて体を動かす楽しさを感じることができる。					【到達目標】 ストレッチの注意点を理解でき、ストレッチの動作を3つ正しい姿勢で実践できる。			
2	【授業単元】 座学：規則正しい生活って何が良い？ 実技：風船バレーをやってみよう！				10	【授業単元】 座学・実技：ストレッチで健康な体になろう！			
	【到達目標】 座学：規則正しい生活を理解し、文章にすることができる。 実技：みんなで風船バレーを楽しくできる。					【到達目標】 1日10分、ストレッチを実践して体の変化に3つ挙げることができる。			
3	【授業単元】 座学：規則正しい生活って何が良い？～睡眠編～ 実技：脳トレ！をやってみよう！				11	【授業単元】 座学・実技：たくさん歩いて健康な体になろう！			
	【到達目標】 座学：規則正しい生活の為に睡眠の大切さを理解し、文章にすることができる。 実技：脳トレ！を実践し、楽しくできる。					【到達目標】 正しい歩き方(姿勢・歩幅など)を理解でき、実践することができる。			
4	【授業単元】 座学：規則正しい生活って何が良い？～運動編～ 実技：筋トレをやってみよう！				12	【授業単元】 座学・実技：たくさん歩いて健康な体になろう！			
	【到達目標】 座学：規則正しい生活の為に運動の大切さを理解し、文章にすることができる。 実技：筋トレを実践し、2種類、挙げることができる。					【到達目標】 1日8,000歩、歩いて体の変化を3つ挙げることができる。			
5	【授業単元】 座学・実技：パラスポーツ(ポッチャ)をやってみよう！				13	【授業単元】 座学・実技：正しい痩せ方(ダイエット)を知ろう！			
	【到達目標】 パラスポーツ(ポッチャ)のルールを理解し、みんなで楽しく実践できる。					【到達目標】 正しい痩せ方(ダイエット)について理解し、文章にすることができる。			
6	【授業単元】 実技：パラスポーツ(ポッチャ)をやってみよう！				14	【授業単元】 座学・実技：〇〇ダイエットに挑戦！			
	【到達目標】 パラスポーツ(ポッチャ)をみんなで協力しながら、楽しく実践できる。					【到達目標】 〇〇ダイエットに挑戦して体の変化を3つ挙げることができる。			
7	【授業単元】 座学・実技：ロコモ度チェックをやってみよう！				15	【授業単元】 座学：振り返り 試験：グループワーク			
	【到達目標】 ロコモ度チェックの必要性・測定項目・実施方法・評価方法を理解し、実践できる。					【到達目標】 今までの授業を振り返り、運動がもたらす体の変化を理解し、どうしたら継続できるかをグループで話し合い、発表することができる。			
8	【授業単元】 運動を考えてみましょう！				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 みんなが楽しくできる運動を考え、発表できる。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に行動しましょう。									

授業概要

科目名	音楽	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	潤 豊		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
音楽を通じて、人と繋がること、共に創ること、失敗を恐れずに挑戦すること、社会の一員として生活する上で大切なことを学ぶ。コミュニケーション、コラボレーションは楽しいと認識することができれば本授業の目標は到達である。歌を上手に歌うこと、音楽の知識を得ることは重要なポイントとはしない。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
ミュージカル業界、POPS業界、国内外問わず活躍するTHE SOULMATICSIに所属する教員がコミュニケーションワークを用いて音楽による歌唱指導を実施する。読む・書くが中心になるものではなく、観る・聴くが中心となる実践型の授業である。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
歌詞、音源データ、その他随時必要資料					授業にて得たことを活かし、少しコミュニケーションを人と図ってみること。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 怖がらず声を出してみる。体を動かしてみる				9	【授業単元】 ブレストで、発表に向けての色々なアイデアを出してみる。			
	【到達目標】 失敗を恐れず、声を出してみる。 思い切って声を出して良い安全な場所があることを認識する。					【到達目標】 様々な考え方やアイデアがあることを知り、可能性が広がることを体感する。			
2	【授業単元】 グループワークにて他者の力を借り、一緒に歌ってみる				10	【授業単元】 模擬の発表を实践してみて、もっと良くなりそうなところを探してみる			
	【到達目標】 人と取り組むと簡単になることを知る 相手の良い所を発見する					【到達目標】 良いものを創るためには、課題に向けたフィードバックが重要であることに気づく			
3	【授業単元】 一曲通して、カメラに向かって歌ってみる				11	【授業単元】 発表に向けて、心配なことをシェアし、解決方法を見つけ出して失敗を恐れずチャレンジする			
	【到達目標】 何かに向かって発信する感覚を知る 感想をシェアする					【到達目標】 不安は、原因を知ることから始まることを体感する。 全てにおいて同じだということをする。			
4	【授業単元】 授業テーマに沿って考えをシェアしてみる。				12	【授業単元】 誰かに向かって歌う練習をする			
	【到達目標】 相手の考えを知り、自分の考えを伝えることを達成する。					【到達目標】 恥ずかしいけど、誰かに歌うことのすばらしさを体感する			
5	【授業単元】 簡単な振りをしながら歌う				13	【授業単元】 本授業を通してできるようになったことを振り返り、シェアする。			
	【到達目標】 音楽の中で、更に誰かと一緒に振りも楽しくなることを体感する					【到達目標】 当初の自分を振り返り、自分自身で成長に気づく			
6	【授業単元】 各チームでちがう振りとフレーズを合わせて歌ってみる				14	【授業単元】 発表に向けての最後の練習と、目標をシェア			
	【到達目標】 コラボレーションにより、楽しくなることを学ぶ チームで作り上げることの喜びを感じる					【到達目標】 目標、目的をもつことの大切さを知る			
7	【授業単元】 6回分の授業を振り返り、シェア。 授業内でクラス発表にチャレンジ。				15	【授業単元】 授業内歌唱発表。			
	【到達目標】 人の前でパフォーマンスする感覚を得、話すこと、表現する体験					【到達目標】 達成する喜びを感じる。振り返り学びをシェアする			
8	【授業単元】 授業の終わりに向けて理想の自分を考えてシェアする				【成績評価の方法と基準】 講義全体を100点満点とし、定期テストを60点、小テストと中テストの合計を40点の配点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。 ・試験は筆記試験で行う。 ・毎回の小テストは各回5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。				
	【到達目標】 後半に向けてのチャレンジングな課題を見つける シェアをする								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
音楽のレベルを上げるための音楽の授業ではなく、この授業を通してより人生を楽しく生きる為のヒントを見つけることが目的です。									

授 業 概 要

科目名	ライフスキルトレーニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	本間 里枝 眞栄田果奈		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	2 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】									
【調理】調理をする事を楽しみながら、食事の大切さを知る。又、調理実習でクラスメイトと協力し様々な物を作り上げていく。出来なかった事や苦手な事にも挑戦をし、自信につなげていく。									
【家政】生活に必要な家事の技術を楽しい会話と演習を通して授業を展開していく。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
【調理】一般企業で勤務後、保育士として認可保育園に14年勤務。現在は園長として勤務。クラスメイトと一緒に調理をする事を楽しめる時間にする。									
【家政】幼稚園教諭・保育士として社会福祉施設にて17年勤務、現在は文京区内の認可保育園にて園長として勤務。実践学習を通して普段の生活にも楽しく取り入れていきましょう。家事の不思議・便利さをみんなで見ていきましょう。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
【調理】・はじめてでもとびきりおいしい 料理のきほん練習帳(高橋書店)					・自宅で調理に挑戦する				
【家政・調理】新しい家庭5・6(東京書籍)を参考					・授業でできなかったことを、自宅でもチャレンジしてみよう。お家の方のお手伝いを一つやってみよう。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1.2	【授業単元】 オリエンテーション				17 18	【授業単元】 【家政4】被服の補修(針と糸の使い方) ※小物入れを作ってみる、小テスト(10点)			
	【到達目標】 科目の概要を知る。 次回からスムーズに授業を始められるように、準備するものや校舎の場所を知る。					【到達目標】 手縫い(ボタンフサ、並み縫い、ゴム通し)を行う。			
3.4	【授業単元】 【調理1】・調理について(調理の流れを知る) ・用具の使い方、衛生面について(手洗い等)、小テスト(10点)				19 20	【授業単元】 【調理5】元気の出る食べ物を考える 小テスト(10点)			
	【到達目標】 衛生面について知る(手洗い・エプロン・アレルギー等) 用具を知り、使ってみる 調理…おにぎり、豚汁、漬物					【到達目標】 食欲がない時や元気が出る食事を考える 調理…カレーライス、千切りサラダ			
5.6	【授業単元】 【家政1】家政の意味(家事とは)、日常生活の中の家事の種類を知る。 次回の洗濯について(繊維の種類と特徴、布地)、小テスト(10点)				21 22	【授業単元】 【家政5】掃除方法について 小テスト(10点)			
	【到達目標】 日常生活がすべての活動の土台であることを確認する。 生活を営む力を身に付ける必要があることを知る。					【到達目標】 清掃に関心を持ち、場所や汚れに応じた掃除の仕方を考えたり、 清掃用具、洗剤の種類を知る。			
7.8	【授業単元】 【調理2】切る・焼く・ゆでるに挑戦する 小テスト(10点)				23 24	【授業単元】 【調理6】食事の盛り付けを楽しもう 定期試験			
	【到達目標】 包丁の使い方、注意点をしっかり覚える 調理…オムライス、野菜スープ、インゲンの胡麻和え					【到達目標】 ・今まで学んだ事を振り返り、栄養を考えながらお弁当を作る お弁当…稲荷ずし、巻きずし			
9 10	【授業単元】 【家政2】①洗濯について ・なぜ洗濯するのかを考える ・洗濯について知っていることを出し合う、小テスト(10点)				25 26	【授業単元】 【家政6】SDGSについて考えてみよう。持続可能な開発目標ってなんだろう? 定期試験			
	【到達目標】 洗濯の必要性が分かり、洗濯機の使い方・手洗いの留意点を知る。					【到達目標】 家政で学んできたことの中で、SDGSにつながることをみんなで探してみよう。グループで話し合い、発表してみよう。			
11 12	【授業単元】 【調理3】献立の立て方を理解する。 小テスト(10点)				27 28	【授業単元】 【マネー教育】給料の使い方、お金との付き合い方を学ぶことで自分の働き方を考える。暮らしを支える税金や保険を学び、自分の人生設計をする			
	【到達目標】 ・五大栄養素を理解し、献立を作ることを楽しむ 調理…ごはん、みそ汁、生姜焼き、サラダ					【到達目標】 自立・自律した生活ができるようになるため、お金の管理や人生設計の知識を体験を通して学ぶ			
13 14	【授業単元】 【家政3】②洗濯について ・洗濯機で使い方(実践してみる) ・手洗いをし、アイロンがけをする、小テスト(10点)				29 30	【授業単元】 【健康】健康診断の結果から健康とは何かを考える 口腔清掃としてブラッシングの方法を理解し体験する			
	【到達目標】 繊維に合わせた洗濯ができる。 アイロンがけができる。被服の収納方法を知る。					【到達目標】 健康を意識した行動ができるようになる 健康と歯のつながりを理解することで口腔内清掃を考える			
15 16	【授業単元】 【調理4】麺をゆでる 小テスト(10点)				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、調理と家政の定期試験60%、調理と家政の毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 調理と家政でそれぞれ100点満点とする。 調理において、小テストの合計40点、定期試験60点の100点満点とする(①) 家政において、小テストの合計40点、定期試験60点の100点満点とする(②) ①と②を足して÷2した点数で評価する。 その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 麺の種類を学ぶ 調理…ミートソーススパゲティ、コンスープ								
心構え・留意点 体に入る物なので、衛生面にも注意をする。又、包丁や火を使用するので説明はしっかりと聞き、疑問点は必ず質問をする。家庭で使う用具を知り、その用具を使って楽しんで活動する。出来ることが目的ではなく、楽しんで挑戦してみる。									

授 業 概 要

科目名	健康管理能力検定講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	栗原冬子	
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数 30 時間
【授業を通じての到達目標】								
①生活リズムや体内時計の働きとしくみを理解することで、健康管理・予防医学の知識を習得しアドバイスや説明ができる。 ②健康管理能力検定3級に合格する。								
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)								
健康管理能力検定1級・健康管理士一般指導員資格保持。省庁・自治体・企業などで健康管理に関する講演活動を行っている教員が、栄養・運動・睡眠など基礎的な健康管理和、将来社会人として必要な健康管理に役立つ実践的な知識を学習する授業を行う。								
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】			
健康管理能力検定3級テキスト					WEB講座視聴(単元ごとの復習として自宅で行う。)			
コマ	授業計画				コマ	授業計画		
1	【授業単元】 私たちの体のリズム(3級テキスト1章12P～26P) 小テスト				9	【授業単元】 ライフステージと体のリズム(3級テキスト136p～144p) 小テスト□		
	【到達目標】 体内時計の仕組みと働きを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 乳幼児の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。		
2	【授業単元】 体のリズムとホメオスタシス(3級テキスト2章28P～42P) 小テスト				10	【授業単元】 ライフステージと体のリズム(3級テキスト145p～153p) 小テスト□		
	【到達目標】 人間の健康を維持しているホメオスタシスの3つの機能(自律神経・内分泌・免疫)の働きについて学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 学童期・青年期の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。		
3	【授業単元】 活動的に過ごすための1日のリズム(3級テキスト3章44P～71P) 小テスト				11	【授業単元】 ライフステージと体のリズム(3級テキスト154p～168p) 小テスト□		
	【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から朝をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 成人期・高齢期の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。□		
4	【授業単元】 活動的に過ごすための1日のリズム(3級テキスト3章72P～90P) 小テスト				12	【授業単元】 健康管理能力検定3級合格対策講座Ⅰ(講座専用資料配布) 小テスト		
	【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から昼・夜をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 健康管理能力検定3級合格に向けた対策講座を行い、検定試験合格を目指す。		
5	【授業単元】 体のリズムと四季折々のくらし方(3級テキスト4章92P～101P) 小テスト				13	【授業単元】 健康管理能力検定3級合格対策講座Ⅱ(講座専用資料配布) 小テスト		
	【到達目標】 体のリズムと東洋医学との関係を学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 健康管理能力検定3級合格に向けた対策講座で検定試験合格を目指す		
6	【授業単元】 体のリズムと四季折々のくらし方(3級テキスト4章102P～119P) 小テスト				14	【授業単元】 前期授業の総復習および試験解答解説 定期試験(択一式試験 時間40分)		
	【到達目標】 春・夏の季節に合わせた健やかな暮らしについて、具体的な方法を学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 検定合格に向けて全てをクリアにする		
7	【授業単元】 体のリズムと四季折々のくらし方(3級テキスト4章120P～134P) 小テスト				15	【授業単元】 合格対策最終確認 小テスト 健康管理能力検定3級試験(択一式試験 時間40分)		
	【到達目標】 秋・冬の季節に合わせた健やかな暮らしについて、具体的な方法を学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 健康管理能力検定3級の内容を理解し、検定に合格する。		
8	【授業単元】 中テスト(択一式試験 時間30分) これまでの授業の振り返りおよび試験解答解説				【成績評価の方法と基準】			
	【到達目標】 これまでの授業の振り返りをし、不明な箇所をクリアにする。				科目の評価 【定期試験】(60点) 【小テスト】(各5点×全13回) 【中テスト】(15点) 定期試験 60%・小テスト・中テスト40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 小テスト・中テスト・定期試験は択一式のweb試験で行い、健康管理能力検定試験は登校し、択一式のマークシート試験で行う。小テストと中テストの合計を足して÷2したものと定期試験の合計点からA-Fの6段階で評価する			
【履修に当たっての心構え・留意点】								
予習は必要ないが、WEB講座を利用するなど自宅での復習は必須。 健康管理を学ぶとともに、検定試験合格を目指しての学習を意識してもらいたい。								

授 業 概 要

科目名	ビジネスマナー検定講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	徳岡健男		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
ビジネス(実務)社会に身を置いて働くときの身の処し方(マナー)を学ぶ講座です。ビジネス社会には、その社会を律するための秩序があります。この秩序を知ることがビジネス社会を知ることです。社会人として働くうえで、基本となる行動規範と考え方を学ぶのがこの授業の目標です。今、社会では規範を守る意識が薄くなっていると言われています。その元になるのが礼儀であり、道徳心を呼ばれるものです。単にルールだけを学ぶのではなく、なぜそうなのかを考えながら理解していきましょう。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
流通業界での実務経験と社会人教育・専門学校教育での教員経験をもつ教員が、ビジネス全般にわたるルールを指導します。授業実施後には、仕事をする際の心構えや具体的な場面ごとのあいさつの仕方等、実践に即したマナーが備わる講座です。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
書名:「ビジネス実務マナー検定3級受験ガイド」及び「実問題集」					予習の必要はありませんが、授業後の復習に取り組んでください。				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業単元】 I 必要とされる資質(仕事の能力)				9	【授業単元】 IV 電話実務(電話対応の注意点を学ぶ。)			
	【到達目標】 社会人としての資質を考える。(行動力・判断力・表現力) 基礎能力と専門能力の意味を知る。					【到達目標】 電話でのマナーと対応の基本を学ぶ。 明るい印象になるように、聞き取りやすい発声ができる。			
2	【授業単元】 I 必要とされる資質(仕事の能力)				10	【授業単元】 IV 電話実務(場面ごとの電話対応の流れを知る)			
	【到達目標】 執務要件を考える。(協調性と積極的な態度の意味を知る) どのような心構えで仕事に臨むことが大切かを知る。					【到達目標】 電話の取次ぎ方等の基本や、メモの取り方等を学ぶ。 (ロールプレイング・5W1Hを意識してメモがとれる。)			
3	【授業単元】 II 企業実務				11	【授業単元】 V 技能(情報と文章についての扱い方)			
	【到達目標】 組織とは何かを考える。協働する必要性を知る。 (一人で出来ないことも多人数だとできることがある)					【到達目標】 情報の整理と伝達についての基本知識を学ぶ。 的確かつ正確な文章が仕事のベースとなることを知る。			
4	【授業単元】 III 対人関係①(人間関係)				12	【授業単元】 V 技能(会議・事務機器・事務用品)			
	【到達目標】 人間関係の要となる要素を知る。 価値観の意味と立場の違いを知る。					【到達目標】 会議に出席するマナー、事務機器・事務用品の基本機能を知る。 機器・備品の取り扱いの注意点を学ぶ。			
5	【授業単元】 III 対人関係②(人間関係と仕事)				13	【授業単元】 問題演習(9回目授業から12回目授業までの復習とまとめを確認する。)			
	【到達目標】 良好な人間関係を作ることの大切さを知る。 他者への配慮を学び、ルールを守ることの大切さを知る。					【到達目標】 検定図書の問題の中から「実技 IV電話実務」「実技 V技能」の過去問題を解いてみる。(11問)			
6	【授業単元】 III 対人関係③(コミュニケーション)				14	【授業単元】 授業総まとめの問題演習(テキスト全範囲)			
	【到達目標】 丁寧な言葉でわかり易い話し方を学ぶ。 よく使われる敬語を知る(尊敬語・謙譲語)					【到達目標】 同じ問題を2回解いて、2回目の正答率を80%を目標とする。			
7	【授業単元】 問題演習(1回目授業から6回目授業までの復習とまとめを確認する。)				15	【授業単元】 「定期試験」の実施。			
	【到達目標】 検定図書の問題の中から、「理論 I 必要とされる資質」「理論 II 企業実務」「実技 III対人関係」の過去問題を解いてみる。(19問)					【到達目標】 定期試験は8回目中間試験の問題と14回目授業の問題演習の範囲から出題します。正答率は70%を目標とする。(検定試験では60%で合格となる)			
8	【授業単元】 前回授業の問題演習から定期試験を実施する。				【成績評価の方法と基準】 評価は、授業で行う小テスト(10回×4点=40点)と定期試験(30点×2=60点)。合計100点満点で評価する。なお、小テストは授業の1回目、2、3、4、5、6、9、10、11、12回目の授業内で実施する。定期試験は8回目と15回目を実施し、評価は学則の規定に準ずる。				
	【到達目標】 検定図書の過去問題・19問を出題。具体的な正答目標として80%を設定する。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に質問をすること。1回の授業で最低1つ質問してみよう。また、授業内で利用する問題は実務マナー検定の過去問題を使用します。授業にはテキストを持参してください。									

授 業 概 要

科目名	現場総合学習	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	3	単位	総時間数	90	時間
【授業を通じての到達目標】											
課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う 校外学習（外出）を行う。見学先を自分たちで決め計画をし、実際に見学し、まとめて発表する。この一連の流れを通して、問題発見力や問題解決力を身につけるための準備を行う											
【学習内容】 （どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習	<p>●全体のオリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場総合学習の目的目標の確認と自分自身の課題を決めるPDCAサイクルについて学ぶ。 ・グループで活動するために大切なことを考える <p>1人ではなく、チームで協力するために意識すること、自分がやるべきことを考える 視点を広げ、人と自分の価値観の違いを共有することの大切さを知ることができる目標を立てることができる</p> <p>●事前学習</p> <p>グループに分かれ、課外学習先について下調べを行う。グループごと役割や目的を決め、当日行動できるように準備をする</p> <p>●課外学習（外出見学）</p> <p>自分達で調べたことや、目標を立てたこと、役割で決めたことを実行することができる そこで見つけた新しい発見や、気になっていることをメモに取ることができる クラスみんなで協力して行い、できたことできなかったことをメモにとることができる</p> <p>●事後学習（まとめ・発表）</p> <p>見学したことをまとめて発表することができる。事前学習で実際に決めたことができたかを振り返る。 クラスのメンバーの良かったことをまとめて発表することができる。</p>										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来働くために必要な、人と協力する力や、自分自身で考える力を身につけることができるように、自分だけでなく人にも興味を持つように意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。					

授 業 概 要

科目名	現場総合学習	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	3	単位	総時間数	90	時間
【授業を通じての到達目標】											
課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う 校外学習（外出）を行う。見学先を自分たちで決め計画をし、実際に見学し、まとめて発表する。この一連の流れを通して、問題発見力や問題解決力を身につけるための準備を行う											
【学習内容】 （どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業ではグループ学習を行い、将来働いた時に自ら発信する力や仲間と協力することが出来る力をつける。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習	<ul style="list-style-type: none"> ●前期の振り返り 前期の振り返りをし、後期の目標を立てる ●事前学習 グループに分かれ、課外学習先について下調べを行う。グループごと役割や目的を決め当日行動できるように準備をする ●課外学習（外出見学） 自分達で調べたことや、目標を立てたこと、役割で決めたことを実行することができる そこで見つけた新しい発見や、気になっていることをメモに取ることができる クラスのみんで協力して行い、できたことできなかったことをメモにとることができる ●事後学習（まとめ・発表） 見学したことをまとめて発表することができる。事前学習で実際に決めたことができたかを振り返る。 クラスのメンバーの良かったことをまとめて発表することができる。 ●成果発表会 1年間通じて現場総合学習を経験し、自分のできたこと難しかったこと、今後の課題となることをまとめて発表する 1人ではなく、グループで活動する上で気づいたことや大切なことをまとめることができる 成果発表会の準備や司会進行など自分たちでプログラムから考え行う 										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来働くために必要な、人と協力する力や、自分自身で考える力を身につけることができるように、自分だけでなく人にも興味を持つように意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。 授業の最後にレポートを提出し評価を行う					

授 業 概 要

科目名	インターンシップ	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	実習	単位数	1	単位	総時間数	45	時間
【授業を通じての到達目標】											
希望する就職分野の就労体験をして、将来像を明確にし、就職につなげることができる。 認知特性、三者面談、個人面談を通じて就職分野を決め、現場実習を通じて働く体験を行う。また、課題を発見し卒業までの計画を立てる。											
【学習内容】 （どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、将来働くことができるように、実際に職場に行き体験をし、自分にあった職種や職場を知るために行う											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						日々の挨拶や姿勢など、社会人になったら大切な基本的な習慣を身につけるように、日常の中で挨拶や言葉遣いを気をつけて生活してもらいたい					
授業計画											
インターンシップ準備	就職に向けて、自分の認知特性について再確認し、得意なところをもう一度知る 自分が就職してみたい分野や、認知特性に合わせた企業や施設を数カ所体験してみる 準備として ・インターンシップ（働くについて）をするにあたっての心構えや礼儀、挨拶の仕方、言葉遣いなど ・働くための服装…活動するにあたってのふさわしい格好について考える ・体験する場所…自分が行く場所について調べる ・目標の設定…自分が現場実習で達成する目標を立てる ・計画書の作成…自分の立てた目標が達成するために自分が実習先で具体的に行動する方法を考える										
インターンシップ先 にて現場で体験する	体験場所（学生に合わせた実習先（福祉分野・製造分野・食分野・特例子会社などを予定） 状況を見て判断する） ・実際に現場実習を行う ・日々の日誌を作成する ・できたことできなかったことを日々の活動で振り返りをする										
インターンシップ 終了後の振り返り	インターンシップを終えての振り返りをまとめ、発表する ・実際に体験してみて感想をまとめる ・事前に立てた目標が達成できたところ、できなかったところを振り返る ・クラスメイトに発表をし、クラスで共有し、今後の活動の参考にしていく ・インターンシップ先にお礼状を作成する ・インターンシップを体験した上で、今後の就職先決定に向けて準備を進める										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
卒業後働くということを体験し、自分の体力やメンタル面などどんな変化があるか体験してもらおう。できたこととできないことを自覚し、今後の就職活動に活かしていく						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。					